

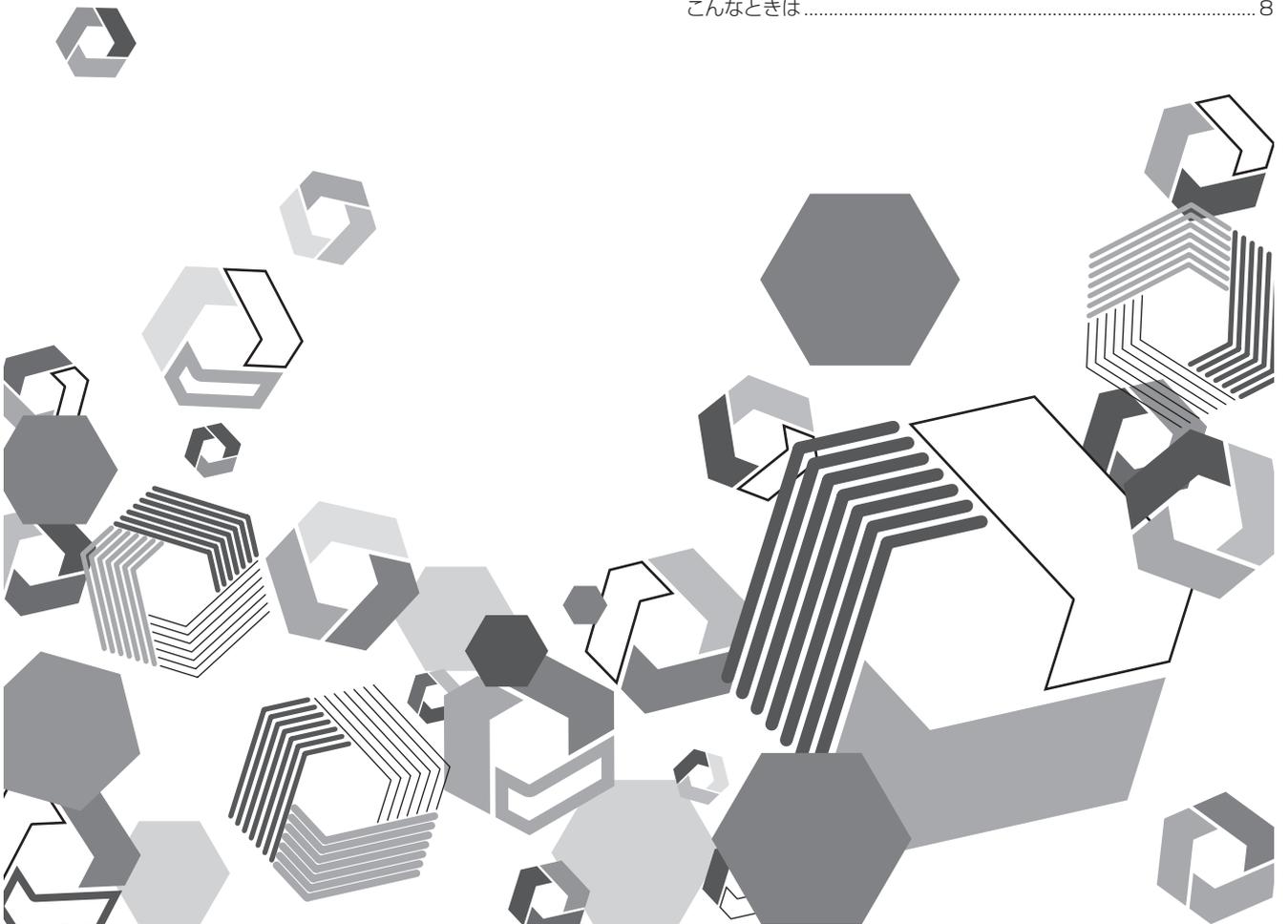
## 操作説明書

### アップグレードソフトウェアキー 品番 AG-SFU160G



#### もくじ

はじめに	2
アップグレードソフトウェアキーについて	2
Eye-Fi 連動機能アップグレードソフトウェアキーご使用の前に	2
Eye-Fi 連動機能ご使用の前に	2
本書について	2
Eye-Fi カードを使用する前に	3
カメラレコーダーの「Eye-Fi 連動機能」を有効にする	3
Eye-Fi Center を設定する	4
Eye-Fi カードを使用する	5
Eye-Fi 連動機能の動作環境について	5
[EYE-FI] メニューの設定	5
Eye-Fi 連動機能の表示例について	7
電源が切れないときは	7
こんな表示が出たときは	7
こんなときは	8



## はじめに

### アップグレードソフトウェアキーについて

アップグレードソフトウェアキー AG-SFU160G は、カメラレコーダー AG-AC160A の Eye-Fi 機能を有効にするアップグレードソフトウェアキーです。

Eye-Fi カードを使うと、カードに記録したファイルを無線 LAN でパソコンに保存したり、共有サイトにアップすることが出来ます。Eye-Fi 連動機能を使うには、無線 LAN 環境が必要です。

詳細は Eye-Fi Japan にお問い合わせください。

<http://eyefi.co.jp/support/>

### 対応モデル

メモリーカードカメラレコーダー：AG-AC160A

### 同梱品一覧

- 導入ガイド「はじめにお読みください」
- CD-ROM（ソフトウェア使用許諾契約書、操作説明書）
- 「キーコードが収められた袋」\*

\* お客様が「キーコードが収められた袋」を開封された場合は、同梱のソフトウェア使用許諾契約に記載の内容にご同意いただいたものとみなします。

包装材料は、商品を取り出したあと適切に処理してください。

### Eye-Fi 連動機能アップグレードソフトウェアキーご使用前に

#### ■ キーコードについて

- キーコードは本製品の再登録の際に必要となりますので、関連付けたカメラレコーダーのシリアル番号と合わせて大切に保管してください。

### Eye-Fi 連動機能ご使用前に

- Eye-Fi カードの取扱説明書もよくお読みください。取扱説明書の記載にしたがって正しくご使用ください。

#### ■ 大切なデータを保護するために

データのバックアップを取っておくことをおすすめします。

#### ■ お客様の情報を守るために

- Eye-Fi カードは、ネットワークを利用して、パソコンやタブレット等にファイルを転送します。転送するデータの内容や転送設定をご確認のうえご使用ください。
- Eye-Fi 機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行ったため生じた損害、および、Eye-Fi 機能を使用したために生じたデータの損失ならびにその他の直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定（暗号化設定）を行うことを強くお勧めします。詳しくは Eye-Fi カードおよびアクセスポイントの説明書をお読みください。

#### ■ 海外での取り扱いについて

- 日本国内で購入された Eye-Fi カードは日本国内でのみ使用することができます。
- Eye-Fi カードは世界各地域の電波に関する法律に準拠するため、購入された国・地域以外では使用できませんのでお気をつけください。

#### ■ その他

- Eye-Fi 連動機能は、Eye-Fi カードの仕様変更などにより変更される場合があります。将来にわたって動作を保証するものではありません。
- 本製品は、Eye-Fi カードの機能（無線送信を含む）を保証するものではありません。カードに関する不具合は、Eye-Fi Japan にお問い合わせください。  
<http://eyefi.co.jp/support/>

### 本書について

- メモリーカードカメラレコーダー（以下カメラレコーダー）の操作については、カメラレコーダー（品番：AG-AC160A）の取扱説明書を読み、操作を理解していることを前提に説明しています。
- [ ] の語句はカメラレコーダー側のメニューに表示される内容を示しています。
- 本書では、参照ページを（00 ページ）のように示しています。
- 本書では、メニューの設定言語を英語に設定しているものとして説明しています。

#### ■ 本書内のイラストについて

- カメラレコーダー本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

#### ■ 用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、および SDXC カードのいずれも SD メモリーカードと記載しています。

#### ■ 商標について

- 「Eye-Fi」は、アイファイジャパン株式会社の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

## Eye-Fi カードを使用する前に

### カメラレコーダーの「Eye-Fi 連動機能」を有効にする

お買い上げ後、アクティベーションコードをカメラレコーダー本体にインポートして機能を有効にしてください。アクティベーションコードはアクティベーションコード発行サイトにアクセスし、表示される手順に従ってカメラレコーダー本体からエクスポートした機器情報と本製品に同梱のキーコードを認証させることで入手できます。なお手続きには、SD メモリーカード（カメラレコーダーでフォーマットしたもの）と、SD メモリーカードスロットを搭載したパーソナルコンピューター、およびインターネット接続環境が必要です。

#### 1 カメラレコーダー本体の機器情報を SD メモリーカードにエクスポートする

カメラレコーダー本体を起動し、SLOT1 または SLOT2 に SD メモリーカードを挿入して MENU ボタンを押し、[ACTIVATE] - [EXPORT PRODUCT SERIAL] - [SLOT1] または [SLOT2] - [YES] と選択すると、SD メモリーカード内に PRIVATE/MEIGROUP/PAVCN/SBG/P2SD/ACTV/ というフォルダーが作成され、SERIAL.LST というファイルにカメラレコーダーの機器情報が保存されます。



[ENTER] ボタンを押してダイアログ表示を閉じます。

- [ACTIVATE] メニューが表示されない場合、AG-AC160A 本体側ファームウェアのバージョンアップが必要です。ファームウェアに関する最新情報は、下記ウェブサイトより AVCCAM のサポートページをご覧ください。  
日本語： <http://panasonic.biz/sav/>  
英語： <http://pro-av.panasonic.net/>
- ファームウェアのバージョンアップの方法は、AG-AC160A 本体の取扱説明書の Vol.2 「本機搭載のファームウェアのアップデート」（100 ページ）をご参照の上、アップデートを実施してください。
- アクティベーションコードを入手したいカメラレコーダーに対して、1 枚の SD メモリーカードで 1 の操作を繰り返すことで、最大 100 台分の機器情報を保存できます。アクティベーションコード発行サイトは SD メモリーカードに保存された複数台数の機器情報をすべて読み取り、複数台数のアクティベーションコードを一括発行することができます。
- Error dialog が表示された場合は、SD メモリーカードの挿入状態、書き込み禁止設定、空き容量などを確認してください。
- 予期しないエラーを防ぐためにも、カメラレコーダーでフォーマットした SD メモリーカードをお使いください。

#### 2 SD メモリーカードをカメラレコーダー本体から抜き、コンピューターに挿入してブラウザから下記のアクティベーションコード発行サイトに接続し、サイトに表示される手順に従ってアクティベーションコードを入手する

日本語： [http://panasonic.biz/sav/actkey\\_j](http://panasonic.biz/sav/actkey_j)

英語： [http://panasonic.biz/sav/actkey\\_e](http://panasonic.biz/sav/actkey_e)

#### NOTE

- 1 で作成した PRIVATE/MEIGROUP/PAVCN/SBG/P2SD/ACTV/ フォルダーは 3 で必要になりますので、上記フォルダーを削除したり、SD メモリーカードをフォーマットしないでください。
- SD メモリーカード内の、PRIVATE/MEIGROUP/PAVCN/SBG/P2SD/ACTV/ フォルダーの中に ACTIVE.LST というファイルがすでに保存されている場合、ご使用のブラウザによってはファイル名が自動的に変更される場合があります。上記フォルダーに ACTIVE.LST ファイルがないことを確認してから、保存してください。

#### 3 入手したアクティベーションコードを、1 で作成した SD メモリーカード内の、PRIVATE/MEIGROUP/PAVCN/SBG/P2SD/ACTV/ の中にサイト内の指示に従って保存し、コンピューターから SD メモリーカードを抜く

#### NOTE

- パーソナルコンピューターや OS（オペレーティングシステム）の種類によっては、SD メモリーカードを抜くのに事前操作が必要な場合があります。

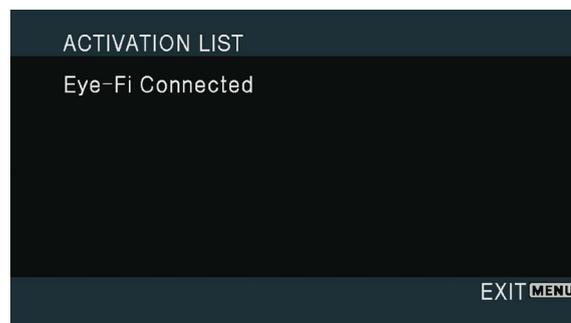
#### 4 カメラレコーダー本体にアクティベーションコードを保存した SD メモリーカードを挿入し、MENU ボタンを押して、[ACTIVATE] - [IMPORT ACTIVATION CODE] - [SLOT1] または [SLOT2] - [YES] と選択する



アクティベート後に、ACTIVATION LIST が表示されます。

#### NOTE

- Error dialog が表示された場合は、SD メモリーカードの挿入状態、3 で保存したアクティベーションコードのファイル（ファイル名：ACTIVE.LST）の保存場所などを確認してください。
- AG-AC160A 以外の AVCCAM 機器の機器情報や本製品以外のキーコードを用いて取得したアクティベーションコードではアクティベートできません。
- 上記操作の途中で、SD メモリーカード内データに対して上記手順以外の操作を行うと、有効化手続きができなくなる場合があります。
- 有効化（アクティベーション）が完了すると、Eye-Fi 連動機能が有効になります。
- 有効化した機能は、MENU ボタンを押して [ACTIVATE] - [ACTIVATION LIST] - [YES] で確認できます。



## Eye-Fi Center を設定する

データの転送先であるパソコンやタブレットで、Eye-Fi Center の設定をする必要があります。

Eye-Fi Center の設定には、インターネット接続環境が必要です。

- Eye-Fi Center は Eye-Fi 管理用のソフトウェアです。

### 1 Eye-Fi Center をパソコンやタブレットにインストールする

### 3 Eye-Fi カードをカメラレコーダーに挿入する

### 2 Eye-Fi Center で Eye-Fi カードの設定を行う

Eye-Fi カードの使用方法や Eye-Fi Center の設定方法については、Eye-Fi カードに付属の取扱説明書または Eye-Fi Japan のサポートページをご覧ください。

<http://eyefi.co.jp/support/>

#### Note

- Eye-Fi カードの設定には、Eye-Fi 専用の USB カードリーダーを使用してください。

## Eye-Fi カードを使用する

### Eye-Fi 連動機能の動作環境について

#### Eye-Fi カードについて

X2 と書かれている第二世代のカードをお使いください。



#### Note

- Eye-Fi カードのファームウェアは最新の状態にてご使用ください。  
ファームウェアの情報は、Eye-Fi Japan のサポートページをご覧ください。  
<http://eyefi.co.jp/support/>

#### ファイル転送ができない場合

- ファイルサイズが 2GB 以上のとき  
Eye-Fi カードの仕様により転送できるサイズは 2GB までです。
- DV モードで記録したコンテンツの場合  
ただし、DV モードでも未転送の AVCHD モードで記録したコンテンツは転送できます。
- Eye-Fi カードに不具合がある場合
- インターネットに接続できる環境にない場合  
カメラレコーダー（Eye-Fi カード）がインターネットに接続できていても、転送先のパソコンやタブレットがインターネットに接続されていないと転送できません。
- Eye-Fi カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている場合  
書き込み禁止スイッチを解除してください。

#### Note

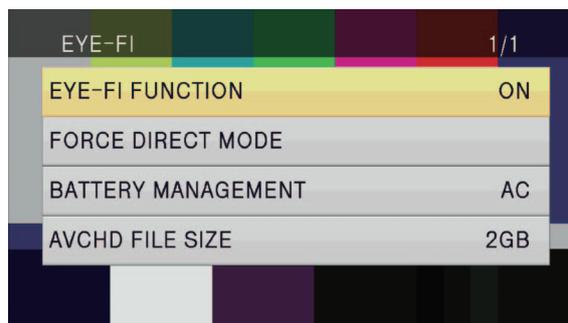
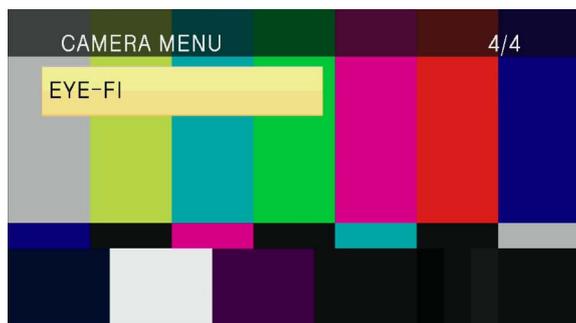
- ひとつの転送先（パソコンやタブレット）に複数の Eye-Fi カードで同時に転送はしないでください。正しく転送されない可能性があります。
- ルーターの名称は、ダイレクトモード用の SSID とは別の名称にしてください。アイコン表示がダイレクトモードになります。

#### [EYE-FI] メニューの設定

Eye-Fi カードを挿入すると、設定メニューの中に [EYE-FI] 画面が表示されます。

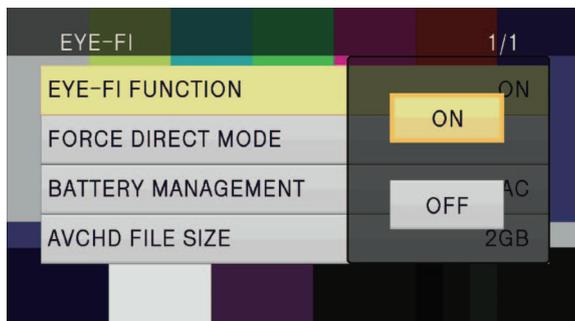
この画面は Eye-Fi カード挿入中のみ表示されます。

（設定メニューの基本操作については、カメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）



#### [EYE-FI FUNCTION]

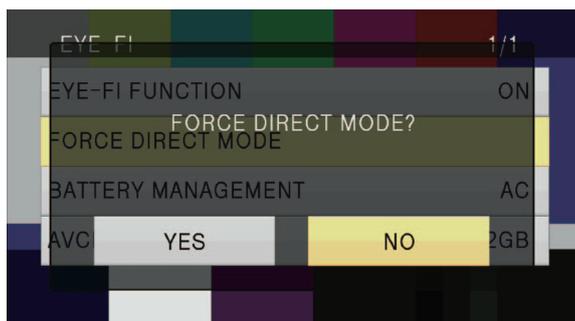
[EYE-FI FUNCTION] の [ON] / [OFF] を設定します。



- [ON] : 設定に応じて無線転送を行います。
- [OFF] : 無線転送しません。
- \_\_は工場出荷モードです。

### [FORCE DIRECT MODE]

Eye-Fi カードをアクセスポイントとして起動します。(ダイレクトモード)  
Eye-Fi カードからパソコンやタブレットに直接ファイルを転送することができます。



- [YES] : Eye-Fi カードをアクセスポイントとして強制的に起動させます。
- [NO] : [FORCE DIRECT MODE] を起動しません。
- \_\_は工場出荷モードです。

以下の操作を行うと、ダイレクトモードは解除されます。

- 録画を開始したとき
- 解除時は以下のメッセージが表示されます。
- [DIRECT MODE TURNED TO OFF. (SLOT1)/ (SLOT2)]

### [BATTERY MANAGEMENT]

転送途中でバッテリーの残量がなくなるのを防ぐため、バッテリー残量に応じて Eye-Fi 機能を有効にする設定をします。工場出荷モードは AC (AC アダプター使用時) です。



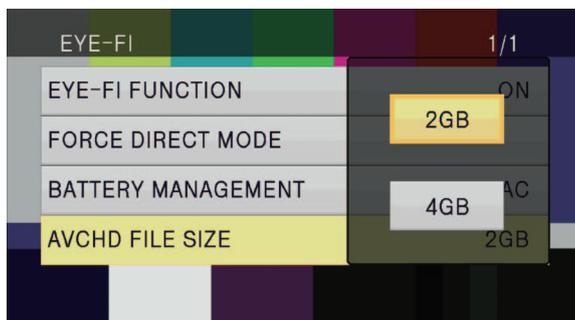
[BATTERY MANAGEMENT] で設定したパーセント未満になるとファイル転送は自動的に停止されます。

### NOTE

- バッテリーで駆動しているとき
  - [AC] を設定している場合は、[EYE-FI FUNCTION] は [OFF] になります。
  - [80%] または [50%] を設定している場合は、バッテリー残量が設定値以下になると [EYE-FI FUNCTION] は [OFF] になります。

### [AVCHD FILE SIZE]

Eye-Fi カードに記録する 1 ファイルあたりのサイズの上限を設定します。



- [4GB] : 1 ファイルあたりのサイズの上限が 4GB で作成されます。2GB を超える動画ファイルは転送されませんので 2GB で使用ください。
- [2GB] : 1 ファイルあたりのサイズの上限が 2GB で作成されます。
- \_\_は工場出荷モードです。

### NOTE

- 記録の設定によっては、通常カードに記録される 1 ファイルあたりのサイズの上限も本メニューに従います。

## Eye-Fi カードを使用する

### ■ 通常記録の場合（[AVCHD FILE SIZE] の設定とカードとの関係）

			スロット1			
			Eye-Fi カード		通常カード	
			記録対象	記録非対象	記録対象	記録非対象
スロット2	Eye-Fi カード	記録対象	メニュー設定に従う		メニュー設定に従う	
		記録非対象	メニュー設定に従う	4GB（固定）		メニュー設定に従う
	通常カード	記録対象	4GB（固定）		4GB（固定）	
		記録非対象	メニュー設定に従う	4GB（固定）		4GB（固定）

※上記は記録対象カードに作成するファイルのサイズを表しています。

### ■ 同時記録 / リレー記録の場合（[AVCHD FILE SIZE] の設定とカードとの関係）

		スロット1	
		Eye-Fi カード	通常カード
スロット2	Eye-Fi カード	メニュー設定に従う	メニュー設定に従う
	通常カード	メニュー設定に従う	4GB（固定）

※上記は記録対象カードに作成するファイルのサイズを表しています。

### NOTE

- ・ 2GB を超える動画ファイルは Eye-Fi 連動機能では転送できません。（転送中のアイコンは表示されることがありますが、転送できません。）
- ・ スロット1 とスロット2 に Eye-Fi カードを挿入し、同時記録を行った場合、同時に 1 台の PC に転送することはできません。
- ・ [4GB] に設定した場合、[FILE SIZE: 4GB] [WHEN FILE SIZE EXCEEDS 2GB, EYE-FI CARD MAY BE UNABLE TO SEND FILE.] というメッセージが MENU 設定終了時に表示されます。

### Eye-Fi 連動機能の表示例について

Eye-Fi 機能使用中は下記のアイコンがビューファインダーや液晶モニター画面に表示されます。PB モードでは、アイコンは表示されません。（ファイル転送は行われます。）

アイコン表示と実際の動作との間にずれが生じる場合があります。

		Eye-Fi カード 未挿入	機能 OFF	機能 ON ネットワーク未接続	機能 ON ネットワーク接続中	機能 ON 転送中 (矢印点滅)	機能 ON 転送中断
通常モード時	スロット1	表示なし					
	スロット2	表示なし					
ダイレクトモード時	スロット1	表示なし					
	スロット2	表示なし					

- ・ <DISP MODE CHK> ボタンを長押しすると表示されます。
- ・ <DISP MODE CHK> ボタンを押すと表示が消えます。
- ・ メニューの [OTHER DISPLAY] 項目が [ALL] または [PARTIAL] の時に表示します。

### 電源が切れないときは

データ転送中は、電源を切ることができません。電源スイッチを OFF にした場合、データ転送が完了すれば自動的に電源は切れます。

転送中に電源を切りたい場合は、電源スイッチを OFF にする前にメニューで [EYE-FI FUNCTION] を [OFF] にするか、カードドアを開いた状態で電源を OFF にしてください。

### こんな表示が出たときは

表示内容	対応
WRITE PROTECTED. EYE-FI CARD UNCONTROLLABLE.	Eye-Fi カード書き込み禁止スイッチがロックされています。そのために、カメラレコーダーが Eye-Fi カードを制御できなくなっています。予期せず、データ転送が始まったりしますので、ロックを解除してから使用してください。
EYE-FI CARD CONTROL ERROR. CHECK CARD.	Eye-Fi カードの制御エラーです。エラー表示とともに、メディア情報が [✕] になります。一度、Eye-Fi カード抜き、もう一度挿入してみてください。
IF "NO REPAIR" IS SELECTED, EYE-FI FUNCTION MIGHT NOT WORK WELL. (SLOT1) or (SLOT2) REPAIR CLIP?	[NO] を選択すると Eye-Fi カードの機能が使用できない可能性があります。

## こんなときは

内容	対応
データ転送中に録画を始めた。	録画動作中は、転送を強制的に切断します。録画動作を終了すれば、転送は再開します。
データ転送中にメモリーカードスロットカバーを開けた。	カバーを開けた時点で転送を強制的に切断します。カバーを閉めれば、転送は再開します。
Eye-Fi カードが熱くなる。	Eye-Fi カードはファイルの転送を行うため熱くなることがあります。
バッテリーの消耗が早い。	Eye-Fi カード使用時は、バッテリーの消耗が早くなります。
転送に時間がかかる。	通信状態によっては、転送に時間がかかることがあります。また、通信状態が悪くなると、転送を中断することがあります。
どこで使っても大丈夫？	航空機の機内など無線の使用が禁止されている場所では、Eye-Fi カードは使用しないでください。
転送したファイルは消去しても大丈夫？	Eye-Fi カードに記録したファイルを消去する前に、パソコンへの転送および共有サイトへアップロードされたことを確認してください。
転送できないファイルや転送先で再生できないファイルがある。	Eye-Fi 転送ではノンリニアへの取り込みはできません。 AVCHD ファイルは、ファイル構造が崩れることがあるため、リストアラーによる修復が必要になります。

パナソニック株式会社 プロフェッショナルAVビジネスユニット

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2012